

行政課題シート（2）

行政課題テーマ	観光消費額単価の向上
---------	------------

実証プロジェクトの内容など
（現状・課題） ○観光消費額単価が上昇しない - 日本人の国内旅行に関する web アンケート調査に基づく推計によると、本市の令和元年度観光消費額単価は 16,355 円であったが、令和 2 年度に新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ後は、ほぼ横ばいとなっており、上昇していない（令和 5 年度は 9,424 円）。 - 一方で、日本人の国内旅行における 1 人あたり消費額は、令和元年度 37,355 円から令和 5 年度 44,034 円に増加している（観光庁 旅行・観光消費動向調査）。 ＜参考資料＞ 「堺観光戦略」 https://www.city.sakai.lg.jp/kanko/kanko/senryakusakutei.files/senryaku-honpen.pdf （求める提案の内容） ○市外からの誘客と観光消費額単価の上昇を目的とし、地域経済の活性化に繋げるための新たな事業。以下のポイントを押さえること。 - 堺を訪れたくなる「ウリ」となる堺観光の魅力や強みを新たな視点で掘り起こし、PR するもの。 - 新たなターゲット層を明確に設定し、その獲得に資するもの。 - 堺観光の情報発信が強化されるもの。 （プロジェクトのイメージ例） ○新たなターゲットに届き、堺観光コンベンション協会と連携し、堺への誘客、周遊促進、消費喚起に寄与するもの。 - 観光と他業種のコラボレーション ○地域×観光×企業（製造業など）のコラボレーションにより、観光業以外の産業にも影響（経済効果）を与えるもの。